

希望ある「新しい政治」を期待します



コロナ感染拡大、貧富の格差、気候変動…「このままでいいのか」。世界では、変革の動きが広がっています。ゆきづまった自民・公明政治を変え、市民と野党の共闘で新しい政治を切り開きたい。そんな熱い思いをみなさんに寄せていただきました。

政権・選挙協力 野党合意に期待



遠藤 俊夫
茨城3区市民連合
共同代表

9月8日市民連合と日本共産党を含む野党4党間での、総選挙に向けた「野党共通政策の合意」を歓迎する。合意はさらに、野党各党がこれらの政策を「共有して闘い、政策を実行する政権をめざす」という。その本気度に希望がわく。党首会談で、政権協力と選挙協力で合意し、市民と野党の共闘は大きく前進した。小選挙区での候補者一本化へ更なる合意を期待したい。

市民と野党協力で、 新政権誕生に期待

児玉力造
製造業

消費税が10%になり、利益の大半が消費税の支払に消えています。コロナ禍で仕事が減っているというのに国は、「減税を」の声を放置。たとえ首相が変わっても、これまでの無責任政治が続くだけです。緊急事態宣言や「まん延防止等重点措置」など「自粛」の毎日で、中小事業者は我慢の限界です。今の自公政権では期待はもてません。市民と野党の協力でぜひ、新しい政権誕生を期待します。

希望ある ジェンダー 平等社会へ



佐野 太一
一般社団法人代表

私は、社会の問題や生理の貧困問題に取り組む団体を運営していますが、ジェンダー平等とは奥深い社会構造の問題であり、社会全体で向き合うものと思っています。市民や国民が関心を持ち、社会全体で理解できる仕組みや、更に社会構造を変えていくことが必要だと思います。是非とも正面から向き合い、実践的な政策を行っていただきたいと期待しています。

気候危機打開へ 期待します



富岡茂雄
元大学教員

「気候危機を打開する・日本共産党の2030戦略」を拝見した。脱原発・脱炭素社会に向けてすぐにでも可能な政策が具体的に列挙され、細部まで目配りが効いている。「公共の利益」としての脱炭素を基に据えた優れた戦略だと思う。個々の政策には批判があると思われるが、それを基に更に洗練し、持続可能な未来のためにぜひ実現してほしい。貴党には大いに期待しています。

3密避けられない保育園 せめて今すぐ ワクチン接種を

伊藤 未来
民間保育園保育士

保育園では、検温・消毒・換気・行事の見直し等、感染症予防に努めています。三密を避けるといっても、スキンシップは子どもの心の発達を考えるうえで欠かせません。しかし、保育士のワクチン接種は、現在「キャンセル発生時の対象者」となっています。子どもの命を守るため、また保護者の就労を保障するためにも保育士のワクチン接種を一刻も早く進めてほしいと思います。

1票にねがいを 込めて



松浦和子
取手9条の会
世話人

松本ヒロさん(芸人)は、日本国憲法のことを親しみを込めて「憲法くん」と呼んでいます。非戦を誓う9条は元より、個人の生命、自由を謳う13条。このいぶし銀のような憲法を、次代を継ぐ子どもたちに必ず手渡したい。来たる選挙では、1票に願いを込めて、改憲を党是としている政権を変えましょう。野党共闘の要としての日本共産党に期待します。

農業が続けられる 政策を



根本 郁子
農業者

「コロナ禍」の長期化により、コメの需要環境はさらに悪化しました。今年のコメ農家支払いは、1俵9000円台と言われています。この価格は、機械や肥料、燃料費にもなりません。日本の主食であるコメの再生産ができない価格です。コロナ禍による需要消失は農家には何の責任もありません。農家が続けられるような政策をお願いします。



取手駅西口・桑原開発見直し、ため込んだ国保基金44億円の活用で 市民の命と暮らし守る市政への転換

日本共産党

9月1日開催の取手市議会は、令和2年度一般会計・特別会計決算の認定、補正予算、条例など市長提出議案とともに請願、意見書などを審議しました。日本共産党は一般質問等で、高い国保税でため込んだ基金44億円、取手駅西口開発の事業費膨張など、問題点を厳しく指摘し改善を求めました。

令和2年度一般会計歳入決算額 535.5億円(前年比3割増)

取手市コロナ対策乏しい独自策

令和2年度歳入決算額は前年度比で125億円30.7%増。それは市民一人10万円の特別定額給付金約107億円など、国のコロナ対策交付金が主な要因です。それでも市には「PCR検査」をうけた市民への助成もなく、疲弊する暮らし・営業支援も、独自のコロナ対策は極めて乏しいものです。

地域経済の疲弊・大企業減税で法人税減少

今、大企業や富裕層の法人税引き上げが世界の流れです。ところが日本では、自公政権のもと大企業対象の法人税率を8.4%に引き下げました。

そのことが、市の地場中小事業者より大規模事業者優先政策で招いた、地域経済衰退・法人税減収を加速させています。

2大開発が市財政を圧迫

市の重点事業、取手駅西口・桑原開発が市財政に大きく影響を与え「都市基盤整備など、経費に今後の増加が見込まれる」と市監査委員も指摘。浸水想定地域に大型商業施設を呼び込む桑原開発は、災害リスク、地域経済に悪影響、農業・食料を守ることに逆行します。

「命と暮らし最優先に」と 決算に反対 日本共産党

コロナ対策は無為無策の国頼み、2大開発優先、子育て環境悪化の公立戸頭北保育所廃止等、市民の命と健康・くらし後回しの、令和2年度一般会計決算認定に、日本共産党は反対。遠山ちえ子市議が討論を行いました。



政策論戦の機会奪い 議会の機能低下を招く

本会議も常任委員会も通常の議案説明は省略、議会開会前にオンラインの議案説明で済ませ、常任委員会はオンライン、答弁する執行部の顔も見えません。

予算・決算、補正予算も常任委員会の審議は特別委員会に移され、常任委員会重視の議会運営は形骸化。昨年6月議会以後、一般質問は30分時短。コロナ対応で「職員多忙」を理由に、



コロナ一般質問は禁止し、執行部方針への質疑のみの「審議」に。議員が市政政策全般について提案し、市長と論戦する最も大事な権利を与党多数によって侵害するなど、議会の機能低下が進んでいます。

取手駅西口開発 駅前広場大幅遅延・膨らむ補償費 与党は沈黙

区画整理は、暫定交通広場の整備後、今

年度中に駅前広場の整備に入る予定でした。

市の不公正な進め方で、今なおビル1棟の地権者の同意は得られず、先行きの不透明さが常任委員会の審査で明らかに。補償費の膨張・事業費拡大の重大事態について、加増みつ子・関戸勇市議が市長の責任を質しました。

他の市議は、質疑もなく議案に賛成しました。



高い国保税の引き下げを!

令和2年度国保会計決算は、14億円の黒字会計となり5億円の基金積立、本年9月現在で、基金総額はなんと44億円に膨れ上がりました(小池市議への市長答弁)。

コロナ禍の令和2年度は、医療機関の受診・健診控えの影響もあり、歳出が予算を大幅に下回りました。

市民の健康を支える保険制度の役割を十分果たすことができたのか?

「コロナ」以前からも毎年多額の基金積み立ては、国保税の取りすぎに他なりません。

小池えつ子市議は、市民の健康・暮らしを守る市の役割を質し、「国保税の引き下げ」を求めました。



毎年度ごとに多額の黒字でため込む基金

●取手市国保会計の過去5年の推移

(各年度の決算書より)

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
歳入総額	149億円	146億円	123億円	119億円	115億円
黒字額	11億円	10億円	8億円	10億円	14億円
基金積立	2億円	5億円	5億円	4億円	5億円
基金残高	8.7億円	13.7億円	18.7億円	22.7億円	27.7億円

国保基金ため込み44億円
(令和3年9月現在、1世帯当たり27万円)



県水道料金値下げ求める 意見書全員賛成で可決

来年4月から大幅値上げが予定される
県南水道料金

値上げ要因の

- ①県南水道が茨城県に使わない水まで料金を払う「契約水量」の見直し
- ②大幅黒字の県水道会計の
原水の値下げ

の2項目を県に求める意見書を共産党が呼びかけ、全員賛成で可決しました。

日本共産党取手市議団



加増
みつ子



遠山
ちえ子



小池
えつ子



関戸
勇